

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

学校給食に初登場（1月26日）

南富良野エゾカツカレー推進協議会の協力により、町内各小・中学校の給食に「エゾカツカレー」が登場しました。学校給食週間（1月24日～28日）に合わせ、ご当地カレーへの理解と関心を高める協議会の活動と地産地消と食育の充実を目指す給食センターが連携し実現。いつもと違う献立に子ども達は笑顔で食べていました。



犬ぞりの自然体験学習を実施（1月25日）

地域の教育力とフィールドを活用し、冬の楽しみ方を学ぶ「犬ぞり自然体験学習」が、落合小学校と北落合小学校が合同で総合学習の一環として、落合の「どんころ野外学校」で行われました。



参加した児童11名は、犬の扱いや指示の掛け声（セット・ゴー、ウォーなど）を教わり、犬とのコミュニケーションをとった後、児童が直接ハーネスを犬に装着し、約500mの距離を、歓声を上げながら犬ぞりを体験しました。

町商工会創立50周年を祝う（1月19日）

商工会法の施行（昭和35年）により昭和36年1月10日に町内の各地区の商工会を単一組織に統合して町商工会（当時村商工会）が設立され50年を迎えたことから創立50周年記念式典が情報プラザで行われました。

式典には会員をはじめ関係者60名が出席し、曾慶会長が「50年が経ち変革の時代を迎えています。地域社会の発展のため、愛する郷土を守るため地域活性化の先人となって全力を傾注します」と式辞を述べられ、10年以上役員を務められた会員9名に感謝状が贈呈され、受賞者を代表して、幾寅 高橋萬さんが、謝辞を述べられました。

また、式典終了後引き続き祝賀会が開催され50周年を祝いました。



南富中で沖縄の歴史・文化を伝える（1月31日）

沖縄県本部町から4名（島袋貞三氏・島袋初美氏・伊波和子氏・仲本章子氏）がプライベート旅行で南富良野町を訪れ、南富良野中学校で沖縄の歴史や文化について講演したり、琉球舞踊や琉球カルタを披露し、生徒との交流を深められました。4名は子ども達との交流事業や平成元年国体の関係で以前にも来町されており、「南富良野町の四季の自然が大変美しく、また是非見に来たいです」と話されていました。



富良野・美瑛カレー街道の実現に向けて（1月28日）

富良野・美瑛広域観光推進協議会が主催する「富良野・美瑛食と観光による地域活性化フォーラム」が町保健福祉センターみなくるで開催されました。

フォーラムには、道内各地の観光協会や商工関係者ら約90名が参加し、じゃらんリサーチセンターのヒロ中田氏が基調講演を行い「ご当地グルメは、一般的にはじめてから3年位から大切な時期を迎えるので、事業の評価や計画などをしっかりやっていたいかなければならない。広域の連携も必要で、カレー街道を作ってはどうか」と提言されました。ご当地グルメを提供する団体（美瑛・富良野・南富良野・占冠・芽室）の代表によるパネルディスカッションでは、活動経過や現状の課題、これからのあり方など熱い議論が交わされました。

また、富良野緑峰高等学校の生徒による「カレーを通じた食育・地産地消の取り組み」の事例発表やご当地カレーバイキング（美瑛カレーうどん、富良野オムカレー、占冠森の恵み山菜カレー、南富良野エゾカツカレー）もあり、ご当地グルメカレー街道の味覚を楽しんでいました。



ちびっこスキー教室（1月29日・2月5日）

町社会福祉協議会が主催する「ちびっこスキー教室」が国設南ふらのスキー場で行われました。この教室は子育て支援事業の一環で、就学まじかの幼児を対象に毎年実施されています。

今年は11名の幼児が参加し、ボランティアの町スキー連盟やスキー指導員協議会の皆さんがマンツーマンで指導にあたり、父母らはわが子の上達に歓声をあげていました。



果敢に旗門へ挑戦（2月11日）

南富良野スキー連盟（新田信一会長）が主催する第30回かなやま湖畔ジュニア・ジャイアントスラローム競技大会が国設南ふらのスキー場で行われ、南富良野スキー少年団に所属する小学生や幼児のほか、富良野沿線や日高、旭川などから78名が出場しました。

各選手の皆さんは、ワンピースに身を包み、雪煙を上げながら、旗門へ果敢に挑戦し各学年毎にタイムを競い、コースサイドやゴール付近から父母らが熱い応援を送っていました。

